

# 関西大学 社会連携部

Kansai University  
Division of Community and Business Partnerships

◆  
総合大学の「知の創造拠点」として  
「文理融合」型の社会連携をめざす

# 関西大学の知的資源が育んだ社会貢献 —「学の実化」100周年、新たな展開—

関西大学の「学の実化(がくのじつげ)」という学是は、第11代学長(1922年~1925年)、総理事山岡順太郎によって提唱されました。この学是はこれまでの関西大学の社会貢献の基盤となっています。2022年には、この学是が制定されて100周年という記念すべき年を迎えます。大学が研学の府として学問における真理追究だけに終わるのではなく、社会のあるべき姿を提案し、その必要とするものを提供することによって、学理と産業界、官界との橋渡しをするべきであるという、「学理と実際との調和」を求める考え方をさらに発展させることが望まれています。

関西大学社会連携部は、大学の重要な使命の一つである「社会貢献」を、関西大学の学是である「学の実化」に基づいて体現する組織です。社会連携部に設置された「産学官連携センター」、「知財センター」、「地域連携センター」、「高大連携センター」、「イノベーション創生センター」と「なにわ大阪研究センター」の6つのセンターおよび「関西大学・大阪医科薬科大学 医工薬連環科学教育研究機構」では、関西大学の人的、知的資源を多様化する実社会の発展に役立つように、関西大学と社会とのハイブリッドなインターフェイスとして、さらには両者の相互作用の担い手として活動しています。

関西大学では、多彩な連携事業が、URA体制の中、社会連携部の下で進められています。関西大学がいままでに構築してきた、政府、自治体、企業、地域、学校や各種団体などとの多様な連携をより効果的なものにすると共に、新たなつながりを模索、構築することが社会連携部の任務です。地球社会の持続的な発展のために関西大学は何ができるのか。本学の社会連携の活動が社会に新たなイノベーションを生み出す原動力となるよう、関西大学の「知の創出と活用」を目指して、邁進していきたいと思えます。



関西大学 副学長  
社会連携部長  
(環境都市工学部教授)  
山本 秀樹

## 関西大学社会連携基本方針

- 1 本学の知的資源と学外の社会資源との融合により、新たな知の創出と活用を戦略的かつ効果的に推進することにより、我が国の社会、産業の発展に貢献する。(社会連携全般)
- 2 公的機関・地方自治体・企業をはじめ、社会との連携を推進することにより、実践的な教育研究活動を通して社会の発展に寄与できる人材を育成する。(社会連携全般)
- 3 国内外の事業者及び公共団体等と連携することにより、本学における教育研究活動の成果を積極的に地域社会や産業界のニーズに結び付けることで、経済の活性化と社会的諸課題の解決に貢献する。(産学官連携)
- 4 学術研究成果の知的財産化を促進すること及び国内外の事業者等へ当該知的財産権を移転することにより、新技術・新産業の創出に寄与する。(知的財産)
- 5 地域社会との連携の拠点として、本学及び地域社会が有する知的・人的資源を相互に活用し、教育研究活動の活性化とその成果をもって、本学及び地域社会の発展に寄与する。(地域連携)
- 6 「次世代の育成」という使命を共有する教育委員会、高等学校、中学校、小学校、幼稚園、支援学校等との連携を促進し、相互の人的・知的交流を通じて、学校・園及び大学双方の教育・研究の一層の充実並びに地域社会における教育活動及び教育環境の向上に取り組む。(高大連携)

## 組織図

学長  
 教育推進部  
 研究推進部  
 国際部

**社会連携部**  
 社会連携部長

### 産学官連携センター

センター長  
 産学官連携コーディネーター  
 事務スタッフ

産業界・官公庁等

### 知財センター

センター長  
 産学官連携コーディネーター(知財担当)  
 事務スタッフ

連携

### 地域連携センター

センター長  
 副センター長  
 地域連携マネージャー  
 事務スタッフ

連携

地域社会・自治体等

### 高大連携センター

センター長  
 副センター長  
 事務スタッフ

連携

教育委員会  
 高等学校等

### イノベーション創生センター

センター長  
 副センター長  
 リサーチコーディネーター(大学発ベンチャー創出支援担当)  
 事務スタッフ

連携

産業界・金融機関等

### なにわ大阪研究センター

センター長  
 副センター長  
 研究員  
 事務スタッフ

連携

地域社会・研究機関等

### 関西大学・大阪医科薬科大学 医工薬連環科学教育研究機構

機構長  
 部門長  
 機構員  
 事務スタッフ

連携

自治体・地域社会・  
 研究機関等

## じつげ 学の実化

関西大学は1922(大正11)年に大学の教育理念として、「学の実化(じつげ)」なるスローガンをうち立てました。その教育理念は「学理と実際の調和」「国際的精神の涵養」「外国語学習の必要」「体育の奨励」から成り立ち、その後、学是として定着しています。

- 2019(平成31)年 関西大学・大阪医科薬科大学  
 医工薬連環科学教育研究機構開設
- 2016(平成28)年 イノベーション創生センター、  
 なにわ大阪研究センター開設
- 2008(平成20)年 社会連携部開設
- 2005(平成17)年 社会連携推進本部開設
- 2002(平成14)年 同研究所を先端科学技術推進機構に改編  
 産学連携体制の強化
- 1964(昭和39)年 工業技術研究所開設  
 産学協同のパイオニアとして活動開始
- 1958(昭和33)年 工学部設置
- 1922(大正11)年 大学(旧制)へ昇格  
 学の実化を提唱
- 1886(明治19)年 関西法律学校創立



## 産学官連携センター

技術的課題に関する  
マッチング窓口

産学官連携センターは、研究成果の活用を図り社会に還元する「学の実化」を実践し、多面的な産学官連携を推進しています。企業等からの連携に関するご相談に対し、多様な産学官連携メニューを用意しておりますので、お気軽にご連絡・ご相談ください。

### 産学官連携メニュー

企業等学外機関より、ニーズや研究テーマをお示しいただき、産学官連携センター主導で学内研究組織及び研究者とマッチングを行います。秘密情報の有無を問わず技術相談からはじまり、共同研究、受託研究、学術指導、試験・分析、技術移転など豊富なメニューを揃えています。

### 産学官連携・技術移転の流れ

まずは、Eメール：sangakukan-mm@ml.kandai.jpにてお問合せください。産学官連携センターでは、産学官連携コーディネーターを配置し、企業ニーズと本学シーズの最善のマッチングをご提案します。連携に関するご相談の場合は、企業名、所属、担当者名、連絡先、課題に思われていること、解決したいこと、希望される産学官連携メニュー及び本学研究者名や連携希望分野をお知らせください。



## 知財センター

「知的創造サイクル」の  
推進拠点

知財センターは、知的財産の創造・保護・活用の推進戦略をたて、知的財産の創出、教員の研究活動によって生み出された学術研究成果の活用による社会貢献と、学術研究の振興を支援することを目的としています。広い分野に亘る産学官連携コーディネーターが、大学・企業間の技術移転に係る橋渡し役を務めています。

### 知的財産管理

大学の研究活動によって生じた発明を、特許出願、権利化、維持・管理を網羅的に行い、知識基盤社会の一員として「知的創造サイクル」を実践しています。

### 知財インターンシップ活動

自己および他者の創出した知的財産を尊重し、学術や社会の発展に役立てる精神と能力を有した、様々な分野で活躍できる人材を育成することを目的に、知財センターでは知財インターンシップ活動を行っています。また、学外機関とも連携し、「学理と実際の調和」を体現する人材輩出に注力しています。

▼産学官連携センター・知財センターについて詳しく知りたい方は Web サイトをご覧ください



関大 研究・技術シーズ集



検索



Webサイトに各シーズをカテゴリ別で掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

## 地域連携センター

地域社会や自治体との  
連携に関する総合的な窓口



地域連携センターは、地域社会との連携窓口としての役割を果たすとともに、地域連携に関するノウハウの蓄積、連携活動の具体化を図ります。また、学内外において多様で特色のある公開講座やセミナーを開催し、本学の教育研究活動を広く社会に還元しています。

### ■ 課題解決型地域連携活動の展開

教育研究活動を通じて自治体等の課題解決を目指す連携活動の展開を推進するとともに、本学における地域連携活動の萌芽および継続・発展のため、様々なサポート体制を構築しています。

### ■ <地域で活動する若い力>奨励賞

地域連携活動を通じて深く学び、著しくその能力の向上を示した学生への顕彰を目的として、<地域で活動する若い力>奨励賞を設置し、現場での挑戦や失敗から育まれる経験・知識の集積や学生の成長促進、ひいては本学の学是である「学の実化」の体現を目指します。

### ■ 知的ネットワークを活かした生涯学習の推進

大阪では「関西大学おおさか文化セミナー」、東京では「かんだい明日香まほろば講座」など、参加者のニーズに合わせた学びの場を提供しています。

▼地域連携センターについて詳しく知りたい方は  
Web サイトをご覧ください



関大 地域連携センター

検索



Webサイトにパンフレットを掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

## 高大連携センター

出張講義や公開授業など  
次代の人材育成を推進



高大連携センターは、大学の重要な使命の一つ「次世代の人材育成」を目標に掲げ、同じ使命を共有する教育委員会、高等学校、中学校、小学校、幼稚園、支援学校等と連携を図りながら、様々な高大連携事業に取り組んでいます。

### ■ 高大連携事業の展開

出張講義型プログラム「関大の知にふれる」や講義体験型プログラム「関大の講義に学ぶ」、公開講座型プログラム「関大の研究を体験する」等、大学の学びを体験できる各種プログラムを通じて、様々な学問領域への高校生の興味・関心を喚起することにより、アカデミックな学習、研究意欲を高め、進路選択や将来についての意識の向上につなげます。

### ■ 学校インターンシップ

本学学生が高等学校・中学校・小学校・幼稚園・支援学校等の学校現場で、教員の日常的な業務、教育活動補助等を幅広く実地体験することを通じて、自己の適性を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識の向上につなげることを目的としたプログラムです。

▼高大連携センターについて詳しく知りたい方は  
Web サイトをご覧ください



関大 高大連携センター

検索



Webサイトにパンフレットを掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

## イノベーション創生センター

ベンチャー支援と文理融合による  
イノベーション創出拠点

イノベーション創生センターは、千里山キャンパスの中央に位置し、インキュベーション機能、起業（ベンチャー）支援機能を兼ね備えたイノベーション創出拠点です。事業化を視野に入れた産学官連携・共同研究や大学発ベンチャーの創出に向けて取り組んでいます。

### 研究活動の支援

24時間利用可能な実験・研究エリアでは、自由な発想と科学的な知見に基づく研究開発の活性化と事業化を見据えた産学官連携による共同研究を展開しています。

### 関大発ベンチャーの支援

関大発ベンチャー創出に向けて、登記可能なレンタルオフィスの提供や研究シーズの発掘、さらには事業展開に係る知財戦略支援などを行っています。また、関西大学起業資金支援制度の運用や学内外機関との連携による支援を行います。

### アントレプレナーシップ（起業精神）の醸成

「発想力」「想像力」「独創力」「リーダーシップ」「決断力」「市場を見る目」など、起業家に求められる要素は、企業においても同様に求められるものです。当センターでは、これらを醸成するための学生向けイベントを行っています。

▼イノベーション創生センターについて詳しく知りたい方は  
Web サイトをご覧ください



Webサイトにパンフレットを掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

関大 イノベーション創生センター

検索

## なにわ大阪研究センター

「大阪研究」の成果を  
全国・世界へ発信

なにわ大阪研究センターは、「大阪都市遺産研究センター」の頃から蓄積してきた、豊富な地域研究と地域連携の実績を学術資産として継承し、「大阪を中心とした地域研究のハブ」を形成してきました。これまでの研究実績によって蓄積されてきた学術的に価値の高い成果物等、本学における豊富な学術リソースを検証・発掘し、広く社会に向けて「なにわ大阪」に関する情報を発信しています。

### 研究活動の支援

貴重な史料や研究成果に係る知的財産を含めた管理とメディア等への効果的な発信を行えるような支援体制と、プロジェクト研究室、共同研究室、セミナー室、展示室、特別収蔵庫、会議室などハード面の支援体制も備えています。

### 多様な研究班の設置

センター長もしくは副センター長が研究代表者となる常設の「基幹研究班」、本学の専任教員が研究代表者となり、学内外の研究者で構成される「公募研究班」、外部資金を活用しながら本センターの事業を推進する「特別研究班」を設置できます。

### 紀要『関西大学なにわ大阪研究』の刊行

本センターで研究活動に従事した経験のある者、本学の専任教育職員または専任教育職員の推薦を受けた者が投稿できる紀要を、年1回程度のペースで発行しています。査読制度もある学術雑誌です。

▼なにわ大阪研究センターについて詳しく知りたい方は  
Web サイトをご覧ください



Webサイトにパンフレットを掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

関大 なにわ大阪研究センター

検索

## 医工薬連環科学教育研究機構

医工薬の協働で  
分子から社会までの人間理解を

# MPES

関西大学・大阪医科薬科大学医工薬連環科学教育研究機構は、2009年度文部科学省事業の採択を受けて設置されました。事業終了後の2019年度には、各大学内にそれぞれ同機構を設置し、教育・研究・社会貢献のすべての面で密接に協働して活動を継続しています。

### ■ 双方向講義

医(看護含む)・工・薬学を学ぶ学生が異分野理解を行うため、各大学で開設されている科目の一部について「TV会議システム」を使用した双方向講義を実施し単位互換を行っています。

### ■ 研究面での連携

2011年度から大学間で共同研究を推進してきた「医工薬連携の会」を、2019年度から当機構の研究部門として内包し、「研究セミナー」及び「研究発表会」を実施して研究シーズの探索と共有、研究者の交流を継続しています。

### ■ 初等中等理科教育支援

広く理科への興味を育てるため、理科実験の体験を中心とする出張講義(高槻市内の小学校)及び「自由研究コンテスト」(高槻市内の小・中学生)を実施しています。

▼医工薬連環科学教育研究機構について詳しく知りたい方は  
Web サイトをご覧ください



Webサイトにパンフレットを掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

関大 医工薬連環科学教育研究機構

検索

# 総合大学の 「知の創造拠点」として、 知的資源の社会還元と 有効活用を実現。 次世代の人材育成を 通じ、広く社会への 貢献をめざす。

社会連携部は、産学官連携事業、知的財産の創造・保護・活用、地域連携、高大連携事業等の推進を通して、広い意味での社会貢献を行うことを目的としています。6つのセンターと1つの機構で構成され、関西大学の人的、知的資源を実社会の発展に役立つように、本学と社会のインターフェイスとして、さらには両者の相互作用の担い手として活動しています。



▼各センター・機構について

詳しくは Web サイトをご覧ください。

<https://www.kansai-u.ac.jp/renkei/>



関大 社会連携

検索



産学官連携センター  
知財センター



イノベーション  
創生センター



地域連携センター  
高大連携センター  
医工薬連環科学  
教育研究機構



阪急関大前駅



なにわ大阪  
研究センター

## 千里山キャンパス



## 関西大学 社会連携部

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号  
 (阪急大阪梅田駅から徒歩20分、JR新大阪駅から徒歩25分、  
 阪急関大前駅から徒歩 北出口より徒歩10分)

ホームページ: <https://www.kansai-u.ac.jp/renkei/>

- 産学官連携センター・知財センター  
 TEL:06-6368-1245 FAX:06-6368-1247  
 e-mail:sangakukan-mm@ml.kandai.jp
- 地域連携センター  
 TEL:06-6368-1032 FAX:06-6368-0858  
 e-mail:chiiki-mm@ml.kandai.jp
- 高大連携センター  
 TEL:06-6368-1184 FAX:06-6368-0858  
 e-mail:koudai@ml.kandai.jp
- イノベーション創生センター  
 TEL:06-6368-1250 FAX:06-6368-1237  
 e-mail:kucic@ml.kandai.jp
- なにわ大阪研究センター  
 TEL:06-6368-0095 FAX:06-6368-0092  
 e-mail:naniwa-osaka@ml.kandai.jp
- 医工薬連環科学教育研究機構  
 TEL:06-6368-1215 FAX:06-6368-1216  
 e-mail:contact-mpes@ml.kandai.jp